

金子元任 おのち 國文學者、歌人。明治元年十一月一日東京生れ、昭和十九年二月二十八日歿（八六六一九冊）。幼名富太郎。號植園、眞木園とて、眞木園、眞木園主人。獨學。明治二十五年雜誌『歌學』創刊。國學院大學教授、御歌所寄人など。

著書 『百人一首評釋』（柴山啓一郎共著、明治二十二年八月二日明治書院）、『歌がたり』（明治三十五年四月八日明治書院）、『古今歌文書綱要』（花岡安貞共著、明治三十六年九月二日明治書院）、『抄本人麿歌集』（内題「撰抄本朝臣人麿歌集」撰、明治二十八年二月一日、再版『新撰抄本人麿歌集』四十一年十一月十日明治書院）、『近世八家文選』（武島又次郎池邊義統共選、明治四十四年二月二十一日發行）『日本文庫選』（、文集『春光』（合著・好文會編、明治四十四年五月二十日明治書院）、同『彩雲』（合著・好文會同人、大正五年二月二十日精華堂書店）、『新徒然草讀本』（大正八年十一月十日明治書院）、

近松門左衛門原作『藏卷達入子と耶麻陀羅妃』（脚色・編著、昭和九年十一月十日河出書房）、『純元（二十六年）檀原神宮歌詠八詠集』（共選・栗山會治郎編、昭和十六年二月五日純元二十七年奈良縣奉祝會）、『金子元任歌集』（昭和二十年二月二十七日明治書院。實際ノ完成流布ハ五月）等。

